

暦の上ではそろそろ秋は終わりを告げ、冬を迎える時期なのですが、ここ沖縄では日中は夏のような暑さを感じる日もありますね。気温差等で体調を崩さないように気を付けましょう。

さて、市民大学の1年次の皆さんは入学後半年が過ぎ、毎週の講座や各種イベント等を通して学生同士のつながりが深まってきた頃でしょうか。

2年次は、卒業レポートの作成は勿論、「講座」と「地域参加活動」の単位数が足りているか等、そろそろ卒業を意識した活動が多くなっていくことと思います。学生同士や事務局からの情報をこまめに確認し、一緒に頑張っていきましょう！

今回の雑記帳第23号では、第3回目の公開講座の様子や卒業生の活動についてお伝えします。

第3回公開講座 開催しました

10月12日（木）、市役所講堂で行われた公開講座は、「とんで・はずんで・トランポロビクス」と題して健康に関心のある市民大学生や市民を対象に行われました。

直径90cmの小さなトランポリンを使って小さく弾んだり、ステップによる有酸素運動とバランス運動で心地よい汗を流しました。

講座は、講師の尾尻氏の「皆さんがサークルを立ち上げ、これからも継続して浦添市でできるよう期待します」との言葉で締めくくられ、トランポリンを通して地域貢献に関わるよう伝えられました。

参加者からは「とても楽しく運動できました。バランス感覚、姿勢の矯正にとっても良いと思いました」、「まさに健康寿命を延ばすのにふさわしい運動です。できれば自分なりに継続してみたいと考えています」等の感想が多く寄せられました。



胸を張って姿勢を正すと気持ち良い！

“まなび”とまちづくりのトークカフェ「みんなで考える浦添市」

まなびフェスタ浦添2017秋×てだこ市民大学特別公開講座

11月3日（金）、てだこホール市民交流室において「まなびとまちづくりトークカフェ」が開催されました。

第1部は、「これからの浦添市に求められる“まちづくり生涯学習のあり方”をテーマにした鼎談。そして、第2部はてだこ市民大学の特別公開講座として瀬名波文野氏（株リクルートホールディングス）×森弘達氏（昭和薬科大付属高校）×松本哲治学長（市長）が登壇し、「これからの浦添市～まなび・輝く・未来～」をテーマに、それぞれの立場から闊達な意見が交わされました。



卒業生インタビュー Vol. 6



このコーナーでは毎号卒業生にインタビューを行い、卒業後の活動や、てだこ市民大学での学びがまちづくりにどのように活かされているのかをお伝えしていきます！

第6回目は、第1期文化振興・教養学部卒業の金城武信さんにインタビューしました。卒業後は、自治会長として日々地域のために頑張っています。



金城 武信さん
(文化振興・教養学部1期生)

Q. 市民大学への入学動機は？

A. 外国航路関係の仕事をしていましたが、定年を機に沖縄に帰ってきました。

県外の友達や元同僚を沖縄で案内した時に、いかに自分が地元のことを知らないのかを思い知らされたので、てだこ市民大学に入って学んでみようと思いました。

Q. 市民大学で学んだことが今の活動にどう活かされていますか？

A. てだこ市民大学で行政や地域キーパーソンのこと、浦添市、あるいは沖縄の芸能など多くのことを学ぶことができました。

今は上野自治会で自治会長をしていますが、市民大学で学んだことが大いに役立っています。

Q. 是非伝えたいことや思い

A. 地域でキーパーソンとして活動する、または何かを初めてみたいという方に、ぜひ入学して学んでほしいと思います！

学生の講座風景 ～市民大学の学びの様子をご紹介します～



←自主講座では卒業生が講師を務めます

→真剣なまなざしです



←車いすバスケットは初めての体験でした！

→講師を囲んで和気あいあい語り合っています



幅広い年齢層で所属も多様です。楽しい仲間たちとの学びのひと時、一緒にいかがですか？

～問い合わせ先～ 浦添市教育委員会 生涯学習振興課 浦添市てだこ市民大学事務局

☎ 098-876-1234 (内線6064)

Mail:syogaku@city.urasoe.lg.jp 浦添市 (HP) : <http://www.city.urasoe.lg.jp/>

